

令和2年度 定期作況報告

(10月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

9月下旬:平均気温は平年より0.3℃高く、降水量は平年の9%、日照時間は平年の114%であり、少雨に経過した。

10月上旬:平均気温は平年より0.6℃高く、降水量は平年の58%、日照時間は平年の75%であり、少雨・寡照に経過した。

10月中旬:平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の105%、日照時間は平年の125%であり、高温・多照に経過した。

9月下旬から10月中旬までの平均気温は平年より0.6℃高く、降水量は平年の57%、日照時間は平年の105%であった。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	15.8	15.5	0.3	13.7	13.1	0.6	11.3	10.3	1.0	13.6	13.0	0.6
最高気温(℃)	21.2	20.8	0.4	18.4	18.0	0.4	16.3	15.1	1.2	18.6	18.0	0.6
最低気温(℃)	11.5	10.5	1.0	9.9	8.5	1.4	6.8	5.7	1.1	9.4	8.2	1.2
降水量(mm)	3.5	38.0	△ 34.5	27.5	47.3	△ 19.8	38.0	36.2	1.8	69.0	121.5	△ 52.5
日照時間(hr)	63.1	55.3	7.8	34.1	45.4	△ 11.3	55.8	44.8	11.0	153.0	145.5	7.5

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年より1日早い4月16日に行った。播種後の4月第4半旬は高温に経過し、播種後6日目に出芽揃となった。育苗期間中である4月下旬から5月中旬を通じての平均気温は平年並で、日照時間は平年並からやや下回った。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時の苗において、茎数は平年並、主稈葉数は3.0枚で平年並からやや少なく、草丈は10.2~11.2cmで平年並から平年をやや上回った。100本あたりの地上部乾物重は2.24~2.38g、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21~0.22であり、平年並であった。苗の形質は概ね機械移植栽培基準の範囲であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや不良

事由:移植直後の5月第5半旬にごく低温で経過したため、生育は停滞し、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じた。6月上旬以降は高温に経過したものの、6月20日における草丈は28.7~29.2cm、茎数は234~325本、主稈葉数は6.8~7.1枚といずれも平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

7月20日 やや不良

事由:幼穂形成期は平年並から1日早かったが、6月下旬の低温・寡照により生育が緩慢となったことから、止葉始は平年より1日遅かった。主稈葉数は10.0~10.1枚と概ね平年並か平年をやや下回り、草丈は64.7~65.5cm m²あたり茎数は540~677本といずれも平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

8月20日 やや不良

事由:7月第6半旬は低温に経過したものの多照であったことから、出穂期および穂揃日数は平年並であった。穂長は「ゆめぴりか」で平年を1.7cm上回ったが「ななつぼし」で0.7cm下回った。稈長は平年を4.0~5.4cm下回り、m²あたり穂数は平年比75~85%と平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

9月20日 やや不良

事由:9月上旬の高温により登熟の進みは早く、成熟期は平年より3日早く、登熟日数は3日短かった。一穂粒数は平年より1~14%多かったが、穂数が少なかったためm²あたり粒数は平年比85~86%であった。稔実歩合、登熟歩合は平年よりそれぞれ1.0ポイント、9.0~10.3ポイント高く、m²あたり登熟粒数は平年比96~98%であった(データ略)。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

10月20日 やや良

事由:籾摺歩合は平年より2.8~3.2ポイント高く、屑米歩合は平年より2.7~3.3ポイント低かった。精玄米千粒重は平年より1.0~1.4g重かった。わら重、精粒重はそれぞれ平年比84~85%、96~99%であった。籾摺歩合が高く、屑米が少なく、精玄米千粒重が重かったことから、精玄米重は56.9~61.2kg/aと平年をやや上回り、収量平年比は101~104であった。

以上により、現在の作況は、やや良である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.16	4.17	△ 1	4.16	4.17	△ 1	
移植期 (月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	
幼穂形成期 (月.日)	6.29	6.30	△ 1	6.30	6.30	0	
止葉始 (月.日)	7.13	7.12	1	7.15	7.14	1	
出穂期 (月.日)	7.27	7.27	0	7.27	7.27	0	
成熟期 (月.日)	9.11	9.14	△ 3	9.11	9.14	△ 3	
穂揃日数 (日)	7.0	6.8	0.2	7.0	7.0	0.0	
登熟日数 (日)	46	49	△ 3	46	49	△ 3	
生育日数 (日)	148	150	△ 2	148	150	△ 2	
移植時地上部乾物重 (g/100本)	2.38	2.23	0.15	2.24	2.22	0.02	
苗の充実度(地上部乾物重/草丈)	0.21	0.21	0.00	0.22	0.21	0.01	
草丈 (cm)	移植時	11.2	10.4	0.8	10.2	10.4	△ 0.2
	6月20日	28.7	29.9	△ 1.2	29.2	30.2	△ 1.0
	7月20日	64.7	69.1	△ 4.4	65.5	70.0	△ 4.5
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	234	332	△ 98	325	398	△ 74
	7月20日	540	755	△ 215	677	869	△ 192
主稈葉数 (枚)	移植時	3.0	3.1	△ 0.1	3.0	3.3	△ 0.3
	6月20日	6.8	7.1	△ 0.3	7.1	7.3	△ 0.2
	7月20日	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.5	△ 0.4
	止葉	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.5	△ 0.4
稈長 (cm)	64.3	68.3	△ 4.0	61.2	66.6	△ 5.4	
穂長 (cm)	15.6	16.3	△ 0.7	18.3	16.6	1.7	
穂数 (本/m ²)	533	707	△ 174	688	811	△ 123	
一穂粒数 (粒/本)	57.0	49.8	7.2	42.5	42.2	0.3	
m ² あたり粒数 (百粒)	304	352	△ 48	292	342	△ 50	
稔実歩合 (%)	94.2	93.2	1.0	93.0	92.0	1.0	
登熟歩合 (%)	92.0	83.0	9.0	88.4	78.1	10.3	
籾摺歩合 (%)	79.2	76.0	3.2	76.4	73.6	2.8	
屑米歩合 (%)	4.0	6.7	△ 2.7	6.3	9.6	△ 3.3	
精玄米千粒重 (g)	24.0	22.6	1.4	24.2	23.2	1.0	
わら重 (kg/a)	56.0	66.7	△ 10.7	57.0	67.0	△ 10.0	
精籾重 (kg/a)	76.5	77.2	△ 0.7	73.8	76.6	△ 2.8	
精玄米重 (kg/a)	61.2	58.7	2.5	56.9	56.4	0.5	
屑米重 (kg/a)	2.6	4.2	△ 1.6	3.8	6.0	△ 2.2	
収量平年比 (%)	104	100	4	101	100	1	
検査等級		2上			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m² 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 刈り取り面積は一区3.56m²。精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和2年9月下旬～10月中旬までの概況は次のとおりである。

9月

下旬：平均気温は平年並だが最低気温が平年より高く、降水量は平年の14.7%、日照時間は平年の101%であり、平年より少雨であった。

10月

上旬：平均気温は平年並だが最低気温が平年より高く、降水量は平年の47%、日照時間は78%であり、平年より少雨・寡照であった。

中旬：平均気温は平年並だが最高気温が平年より高く、降水量は平年の129%、日照時間は124%であり、平年より多雨・多照であった。

気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月	下旬	15.0	14.7	0.3	20.4	20.4	0.0	10.5	9.5	1.0	5.5	37.3	△ 31.8	3.0	2.5	0.5	54.8	54.1	0.7
10月	上旬	13.1	12.4	0.7	17.7	17.6	0.1	9.2	7.5	1.7	19.0	40.9	△ 21.9	6.0	3.3	2.7	33.1	42.6	△ 9.5
	中旬	10.2	9.5	0.7	16.2	14.9	1.3	5.1	4.3	0.8	38.0	29.5	8.5	2.0	4.3	△ 2.3	57.9	46.8	11.1
平均(合計)		12.8	12.3	0.6	18.2	17.7	0.5	8.3	7.2	1.2	62.5	107.7	△ 45.2	11.0	10.1	0.9	145.8	143.5	2.3

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(令和2年播種)

令和2年10月20日作況：やや不良

事由：9月上中旬は断続的に降雨があったため播種作業は遅れ、播種期は平年より4日遅い9月23日となった。播種後の気温は概ね平年並に推移したが、出芽期は平年より5日遅い10月1日となった。出芽が遅れたことから、10月20日現在で草丈、茎数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R2.月.日)	9.23	9.19	4
出芽期	(R2.月.日)	10.1	9.26	5
出穂期	(R3.月.日)		5.31	
成熟期	(R3.月.日)		7.17	
冬損程度	(0:無~5:甚)		0.4	
草丈 (cm)	R2.10.20	17.1	19.3	△ 2.2
	R3.5.20		52.9	
	R3.6.20		95.7	
茎数 (本/m ²)	R2.10.20	529	717	△ 188
	越冬前(11月)		1373	
	越冬後(4月)		2071	
	R3.5.20		1315	
	R3.6.20		794	
成熟期に おける	稈長 (cm)		87	
	穂長 (cm)		9.0	
	穂数 (本/m ²)		734	
倒伏程度	(0:無~5:甚)		1.0	
子実重	(kg/10a)		725	
容積重	(g)		816	
千粒重	(g)		39.7	
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成29年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春播小麦 記載事項なし

3. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年より3日早い5月19日、出芽期は2日早い5月31日であった。主茎長はやや長く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由：開花期は平年より5日早い7月11日であった。主茎長はやや長く、主茎節数はやや少ない。分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 やや不良

事由：前節7月中旬から8月上旬にかけて、降水量が少なく、干ばつ傾向に経過したことから、主茎長は平年よりやや短く、着莢数もやや少ない。前節に引き続き、主茎節数はやや少なく、分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況はやや不良である。

9月20日 やや不良

事由：前節同様に、主茎長は平年よりやや短く、主茎節数はやや少ない。分枝数は平年並である。着莢数は、平年比81%と少ないが、登熟は順調に進んでいる。

以上により、現在の作況はやや不良である。

10月20日 やや不良

事由：成熟期は平年並であった。百粒重は平年より5.6g重かったものの、着莢数、一莢内粒数は平年より少なかった。そのため、子実重は平年比95%とやや低収となった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	5.31	6.2	△ 2
開花期	(月.日)	7.11	7.16	△ 5
成熟期	(月.日)	9.30	9.30	0
主茎長 (cm)	6月20日	12.3	10.0	2.3
	7月20日	44.4	39.6	4.8
	8月20日	47.7	51.6	△ 3.9
	9月20日	46.3	51.6	△ 5.3
	成熟期	46.4	51.9	△ 5.5
主茎節数 (節)	6月20日	3.0	2.9	0.1
	7月20日	8.8	9.4	△ 0.6
	8月20日	8.8	9.9	△ 1.1
	9月20日	8.7	9.9	△ 1.2
	成熟期	8.8	10.0	△ 1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	6.8	6.6	0.2
	8月20日	7.0	7.3	△ 0.3
	9月20日	7.0	7.1	△ 0.1
	成熟期	6.9	6.9	0.0
着莢数 (莢/株)	8月20日	66.6	75.6	△ 9.0
	9月20日	56.9	70.2	△ 13.3
	成熟期	60.1	68.8	△ 8.7
一莢内粒数		1.78	1.92	△ 0.14
子実重	(kg/10a)	394	413	△ 19
百粒重	(g)	43.7	38.1	5.6
屑粒率	(%)	4.2	1.1	3.1
品質	(等級)		2中	
子実重平年対比 (%)		95	100	△ 5

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：やや良

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。播種後、干ばつ傾向で経過したため出芽にややバラツキは見られたが、出芽期は平年より4日早い6月9日であった。6月20日現在で主茎長、主茎節数ともに平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：良

事由：6月下旬はやや低温に経過したが、7月以降は平年並みに経過し、適度な降水があった。このため、開花期は平年より6日早かった。7月20日現在、主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数は多い。

以上により、現在の作況は良である。

8月20日作況：不良

事由：気温は、7月下旬が平年よりやや低く、8月上旬以降は平年並みからやや高く推移した。期間を通じて降水量はかなり少なかった。このため、干ばつの影響を強く受けて生育が抑制され、分枝数は平年より多いが、主茎長は平年より著しく短く、主茎節数はやや少なかった。中・上位節の着莢が不良で、着莢数は平年の7割程度と少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

9月20日作況：不良

事由：成熟期は平年より18日早い8月27日であった。成熟期における主茎長は平年より著しく短く、主茎節数はやや少なく、分枝数は多かった。着莢数が平年の85%と少なく、一莢内粒数も平年の89%と少なかった。

以上により、現在の作況は不良である。

10月20日作況：不良

事由：百粒重は平年並であったが、着莢数、一莢内粒数が平年を大きく下回ったため、子実重は平年比79%と低収であった。屑粒率は平年より低かった。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.21	5.24	△ 3
出芽期	(月.日)	6.04	6.13	△ 9
開花期	(月.日)	7.20	7.26	△ 6
成熟期	(月.日)	8.27	9.14	△ 18
主茎長 (cm)	6月20日	7.2	4.0	3.2
	7月20日	28.9	17.7	11.2
	8月20日	38.9	62.5	△ 23.6
	成熟期	41.5	64.1	△ 22.6
主茎節数 (節)	6月20日	2.3	1.6	0.7
	7月20日	9.0	8.1	0.9
	8月20日	13.4	14.7	△ 1.3
	成熟期	13.2	14.4	△ 1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	6.6	2.9	3.7
	8月20日	5.9	3.7	2.2
	成熟期	5.9	3.8	2.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	40.2	56.8	△ 16.6
	成熟期	44.5	52.3	△ 7.8
一莢内粒数		5.50	6.17	△ 0.67
子実重	(kg/10a)	260	330	△ 70
百粒重	(g)	13.4	13.3	0.1
屑粒率	(%)	1.3	5.5	△ 4.2
品質	(等級)		4上	—
子実重平年対比	(%)	79	100	△ 21

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均
ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、
6月20日の主茎長と分枝数は平成30年も除いた4カ年平均。

5. 馬鈴しょ 記載事項なし